

# 「利他の精神」で地域と共に



理事長 渡邊 円世

猛暑の夏から朝夕は次第に涼しい季節になってまいりました。

ロシアのウクライナ侵攻が始まって半年が経過し、悲惨な戦争のニュースに心を痛め、世界の平和が将来どうなるか一抹の不安を感じていることと思います。またその影響から、電力、ガスの値上がり、食品価格の高騰等、当紫雲会の運営にも影響が及んで来つてあります。

また、コロナ禍は3年目になり我慢の日々が続いています。特に利用者様への面会は控えていただいております。ご本人及びご家族にはご協力いただき申し訳ない限りであります。これからも当面制約を余儀なくされると予想されますが、皆様のご協力により、乗り越

えていきたいと思っております。

さて、紫雲会は昭和四十五年の紫雲荘開設以来五十二年余を経過しました。その後数年内に三国寮と本城苑を開業しました。大分県下でも最も早く開業した社会福祉法人の一つです。

長い歴史の間、職員は工夫と研修を重ね今日に至りました。申すまでもなく福祉の世界で働くことは自らの幸せを求めて努力すると共に、利用者様や仲間の幸せを求めることが目的であります。この様な福祉の魅力にふれることは最高の仕事だと思います。先日亡くなった経営の神様と言われた稲盛和夫氏は人生で一番大切なことは「利他の精神」だと説いています。まさに共通しています。

2022年 9月  
第30号

発行：社会福祉法人 紫雲会  
住所：大分県豊後大野市  
三重町本城2050番地  
TEL：0974-24-0011  
FAX：0974-24-0055

ホームページ  
<http://siunkai.com>



これからは国の動き、社会の動きや情報化、介護ロボットの導入等いろいろな変化が迫って来ると予想されますが、過去の実績に奢ることなくしっかりと対応できるように研鑽を重ねたいものです。

少子高齢化の流れは一層深刻化しております。社会福祉法人は準公務員として発足しました。その良さは若い人たちに十分伝わっているかは疑問です。どうか職員、利用者様の関係者に当紫雲会の魅力を伝えていただければ幸いです。そして人にやさしく優秀な人材さらに将来この地域で活躍する人材が一人でも多く仲間に加わってくれることを期待しています。

最後になりましたが、職員、利用者様共々笑顔で穏やかに過ごさることができるよう願っております。



## 理事会・評議員会を 開催しました。

令和4年6月9日に今年度第1回の理事会を、6月24日に同じく第1回の評議員会を開催し、それぞれ令和3年度の法人並びに各施設の事業報告及び決算報告が承認されました。

事業報告では、新型コロナウイルスの影響により、各施設・事業所共に、面会やボランティアの制限、更にはいろいろな行事の中止や縮小を余儀なくされている実態が報告されました。

決算報告では、特に通所型事業所の収支の改善を求める意見や、法人全体における人件費の伸びについて将来の見通しを問う意見などが出されました。

また、今年度は第2期の社会福祉充実計画の策定についても審議され、総額7億1980万円の充実残額に基づき、施設整備並びに職員処遇の向上を中心とした5ヶ年計画が承認されました。

## 第三者福祉サービス 相談員を委嘱

紫雲会福祉サービス相談委員会設置規程により、今年度、新たに4名の方(写真)に第三者福祉サービス相談員を委嘱いたしました。

第三者福祉サービス相談員の皆様には毎月紫雲荘、三国寮、本城苑の三施設を訪問していただき、合計250名の利用者の暮らしの様子を見ていただくと共に、相談や苦情を受け付けた場合は、第三者の立場で調査・確認を行い、その解決に向けて、必要に応じて事業者側に助言や指導を行うこととされています。

相談員の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。



玉田 照光 様  
三重町玉田



佐藤 和夫 様  
三重町内田



下田 一美 様  
清川町伏野



田崎 久代 様  
三重町赤嶺

## 法人新人研修を開催

令和4年度紫雲会新人研修を2日間にわたり開催しました。第1日目には渡邊円世理事長による法人職員としての自覚と責任、そして新人職員への期待を込めた訓示から始まり、つづいて、法人本部の羽田事務局長より「紫雲会の理念と概要について」、三国寮衛藤施設長より「身体拘束防止について」の講義が行われました。

2日目は紫雲荘芦刈相談員より「事故防止について」、法人本部の永松事務員（BCP主担）より「感染症予防について」、本城苑廣瀬施設長より「権利擁護について」それぞれ講義があり、両日とも十一名の方が参加され、新人の皆さんは熱心にメモを取りながら受講していました。

新しく紫雲会の職員とされた皆さんには、紫雲会が地域の中で果たすべき役割を自問し、研鑽に励んでいただきたいと思います。



# 紫雲会の在宅事業

## Beハウス ☎22-3773

障がいがあっても働く意欲のある方が、自宅やグループホームから通い、作業能力と社会性の向上を目指している就労継続支援B型事業所。

作業内容は多種多様で、野菜や野菜苗の生産販売・市道や市が管理する公園などの除草作業・民間企業からの内職や、施設外就労として企業における就労など、それぞれの個性や作業能力に適したものが用意されています。工賃の月額平均は令和2年度が19,496円、令和3年度が20,871円でした。(厚労省発表令和2年度全国平均15,776円)



伸びる 育む



## ぽっけ ☎22-3553

開設から2年目を迎えた「放課後等デイサービスぽっけ」。障がいのあるお子さん(小1から高3)を通所により支援しています。

学校のある日は放課後、お休みの日は朝から過ごしていただき、それぞれの個性に合わせた療育・コミュニケーション能力・生活スキルの向上を図り、健全な成長を支援しています。

大切にしていることは一人ひとりの個性を尊重すること、そして、活動や遊びの中で周りとの関係性を築き、社会性を身に付けていくことです。

## コスモス ☎22-3230

障がいのある人が地域で暮らすグループホームコスモスは三重町玉田に民間のアパートを借り受けて事業を行っています。

現在9名の方が入居され、そこから企業や作業所に通っています。

毎日2名の世話人さんが訪問し、食事の準備や、日常生活における相談助言・受診や買い物などへの同行を行いながら、地域における暮らしを支援しています。

現在、女性の部屋が1名分空いています。



守る 支える

## デイサービス ☎22-7010

要支援1から要介護5の認定を受けた高齢者の方を自宅から送迎し、入浴や食事の提供を行うと共に、健康管理やレクリエーションによる生活リハビリを行います。生活の不活発化による心身機能の低下を防ぐよう、体と脳の活性化に向けて、いろいろなアクティビティーが用意されています。見学も随時受け付けています。



## ホームヘルプ ☎22-8881



高齢者や障がいのある方のご自宅を訪問し、買物・掃除・調理などの生活援助や、入浴や更衣、排泄介助などの身体介護を行います。

住み慣れた我が家で暮らしたいという思いに寄り添い、利用される方一人ひとりの暮らし方を応援します。



特別養護老人ホーム 紫雲荘

7月上旬、七夕飾りに彩られた小ホールにて、お茶会が開催されました。色々な種類のお菓子やジュースを準備していると、「お菓子がいっぱいあるな〜。」「あれも、これも食べる!」「おいしい、おいしい!」と言って召しあがっていました。写真撮影の時には、目をキラキラ輝かせて七夕飾りを眺めていました。次回の催し物が楽しみです。



紫雲荘 ショートステイサービス (短期入所)

ちぎり絵を製作中! 「折り紙をちぎるのは、リハビリになるな〜。」大小様々な大きさにちぎり、集中して貼っています。



完成したちぎり絵は、中廊下に展示中。

大作の予感! もう少しでコスモスのちぎり絵が完成です。四季折々、作品を製作しています。



盲養護老人ホーム 三国寮

調理実習

7月の献立は夏野菜のカレーとポテトサラダ。入居者の皆さんのアイデアで、ご飯の上に焼き野菜をのせ、牛肉と野菜を煮込んだカレーをかけた。おしゃべりな仕上がりに「カフェのランチみたい!」「みんなでお店を開こう」と話も弾み、絶妙な塩加減のポテトサラダと併せてとても好評でした。



いっぱい取ったよ

7月20日、「夏のお楽しみ会」を催しました。磁石の付いた竿でのお菓子釣り、投げた輪の中に入ったお菓子が全てもらえる輪投げ、キャラクターの顔が書いてあるボードから腕を出した職員との腕相撲、スイカ割り、など、どれも面白いゲームばかりで、皆さん真剣な表情で挑んではあちこちから大きな歓声があがっていました。会が終わる頃には袋がお菓子でいっぱいになり「こんなに取れた!!」「楽しかったわぁ」とたくさん笑顔が見られました。



至福のひととき

一年でいちばん楽しみという入居者もいるほどのビアホール。今年は8月17日に行いました。焼き鳥を片手に飲む冷たいビールは最高!と食も進み、用意された料理がどんどん減っていきます。焼き鳥以外にも寮長自慢のソース焼きそばや、から揚げ、焼きナス、おにぎり、キウリのぬか漬、フルーツの盛り合わせなどバラエティーに富んだメニューがテーブルいっぱいになり、並べられ、好みの飲み物と一緒に心ゆくまで味わいました。デザートにかき氷のサービスもあり「もう食べれん」と言いながらも、別腹にしっかりと食べていましたよ。歌や踊りも飛び出して賑やかに夏の夜を楽しみました。



障害者支援施設 本城苑

☆夕涼み会☆

夜間防火避難訓練の後、本城苑の中庭で花火を楽しみました。空にはきれいな打ち上げ花火も上がり、利用者さんの嬉しそうな笑顔、ワクワクした表情をたくさん見ることが出来ました。



防災の日

9月1日は、防災の日。地震を想定した避難訓練を行いました。

防災の日になんで昼食は非常食のわかめご飯の試食がありました。炊き出しの豚汁もあり、豚汁の良い香りの中、皆で美味しくいただきました。



生け花教室



久しぶりに、生け花教室を再開しました。ボランティアの方をお招きし、花の大好きな利用者さん達は花をいけ、本城苑を美しく飾ってくれました。ゆつくりと過ごす時間も大切ですね。



感染予防

本城苑では、感染対策として、出勤時に更衣・検温・手洗いを徹底し、施設への持ち込み防止に努めています。体調異常などの場合、すぐに医療機関への受診を行っています。このような取り組みにより、利用者への感染は今現在「0人」です。



～ 福祉・仕事・介護の相談窓口 ～

福祉

サポートセンターサライ  
☎ 22-1041

大分県による障がい児の療育事業、並びに豊後大野市と竹田市による障害者相談支援事業の委託を受けて活動しています。

子どもから大人まで、切れ目のない支援で、福祉サービスのこと、障害や医療に関すること、経済や暮らしのことなど、生活全般にわたる、障がい者(児)の総合相談窓口です。



仕事

就業・生活支援センターつばさ  
☎ 22-0313

国の機関である大分労働局と、大分県福祉保健部及び商工労働部の委託を受け、働く意欲のある障害者の就労・定着・生活に関する相談業務を行っています。

担当エリアは豊後大野市及び竹田市で、企業訪問により障害者の就労先を開拓したり、障害者雇用に関する啓発や助言を行うと共に、一人ひとりの適性に沿った求職活動を支援します。



介護

介護保険サービスセンター紫雲  
☎ 24-0001

介護サービスを利用する際に必ず必要なもの、それは要介護認定とケアプランです。そしてそのケアプランを作成するのが介護支援専門員。当センターでは3名の介護支援専門員が、ご本人の意向を聴き取り、介護サービスを利用しながら、自立した生活が送れるよう支援いたします。

認定を受ける前の相談にも対応いたします。



令和3年度 社会福祉法人紫雲会 決算報告

貸借対照表

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	1,467,106	流動負債	142,822
固定資産(基本財産)	1,661,144	固定負債	188,779
その他の固定資産	1,347,711	負債の部 合計	331,601
		純資産の部	
		基本金	135,422
		国庫補助金等特別積立金	540,522
		その他の積立金	694,000
		次期繰越活動増減差額	2,774,415
		純資産の部 合計	4,144,360
資産の部 合計	4,475,961	負債及び純資産の部 合計	4,475,961

資金収支計算書

(単位：千円)

科目		社会福祉事業・公益事業
事業活動による収支	事業活動収入	1,453,451
	事業活動支出	1,440,960
	事業活動資金収支差額	12,491
施設整備等による収支	施設整備等収入	20,754
	施設整備等支出	69,497
	施設整備等資金収支差額	△48,743
その他の活動による収支	その他の活動による収入	9,349
	その他の活動による支出	333,026
	その他の活動資金収支差額	△323,677
当期資金収支差額		△359,929
前期末支払資金残高		1,767,998
当期末支払資金残高		1,408,069

事業活動計算書

(単位：千円)

科目		社会福祉事業・公益事業
サービス活動増減の部	サービス活動収益	1,444,324
	サービス活動費用	1,534,926
	サービス活動増減差額	△90,602
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益	9,189
	サービス活動外費用	1,353
	サービス活動外増減差額	7,836
経常増減差額		△82,766
特別増減の部	特別収益	18,719
	特別費用	18,719
	特別増減差額	0
当期活動増減差額		△82,766
前期繰越活動増減差額		2,877,181
当期末繰越活動増減差額		2,794,415
その他の積立金積立額		20,000
次期繰越活動増減差額		2,774,415

事業の概要

◆ 第一種社会福祉事業

特別養護老人ホーム紫雲荘  
盲養護老人ホーム三国寮  
障害者支援施設本城苑

◆ 第二種社会福祉事業

紫雲荘デイサービスセンター  
ホームヘルプセンター紫雲  
サポートセンターサライ  
本城苑作業所Beハウス  
グループホームコスモス  
紫雲荘ショートステイサービス  
放課後等デイサービスぽっけ

◆ 公益事業

介護保険サービスセンター紫雲  
就業・生活支援センターつばさ

編集後記

本城苑の創作班に所属する小野治代さんの作品をエイトピアおおのに展示しています。折り紙や貼り紙で作る作品は見事なものです。機会がありましたら是非ご覧ください。



「はるよの世界」のポスターを見て、早速エイトピアおおのに足を運んだ。以前から彼女の記憶力の良さには驚かされていたが、今回は作品の出来栄と共に、彼女の故郷朝地への思いの強さに心を打たれた。作品の多くが、彼女の生まれ育った朝地に関わるもので、施設で暮らす彼女と故郷との絆を感じさせるものだった。その「故郷」で連想するのは、戦火に追われて日本に避難しているウクライナの人々のことである。戦地に送られた夫や父の無事を祈り、遠い異国の地で故郷を思い続けている人がいる。故郷への思いを込めた彼女の作品は、静かにそれを語りかけているようにも見える。



はるよの世界

朝地を想う

小野治代作品展



2022年  
9月1日(木)  
～9月30日(金)

開館時間 9:00～22:00  
休館日 月曜日(祝日の場合その翌日)

【会場】

エイトピアおおの  
エントランスホール

豊後大野市三重町内田878

主催：社会福祉法人紫雲会 本城苑  
連絡先：豊後大野市三重町本城 2054  
☎0974-22-3230

後援：豊後大野市  
協力：豊後大野市総合文化センター エイトピアおおの

